

2025 年 10 月 3 日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 奥村 重史

カンボジア国国道 1 号線・メコン架橋整備事業
(協力準備調査 (有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・ 日時 : 2025 年 9 月 19 日(金) 13:57~17:53
- ・ 場所 : JICA 本部 (2 階 202 会議室) 及びオンライン
- ・ ワーキンググループ委員 : 奥村委員、小椋委員、鈴木(克)委員、田辺委員、錦澤委員、山岡委員
- ・ 議題 : カンボジア国国道 1 号線・メコン架橋整備事業 (協力準備調査 (有償)) に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・ 配付資料 :
 - 1) カンボジア国国道 1 号線・メコン架橋整備事業 (協力準備調査 (有償)) SC 案
 - 2) 回答表及び別添資料
- ・ 適用ガイドライン : 国際協力機構環境社会配慮ガイドライン (2022 年 1 月)

全体会合 (第 172 回委員会)

- ・ 日時 : 2025 年 10 月 3 日(金) 14:00~17:32
- ・ 場所 : JICA 本部 (2 階 202 会議室) 及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 本事業計画の根拠となる交通需要予測の結果を DFR に記載すること。
2. アレクサ市の人口予測やメコン架橋の交通需要予測がスコーピング案段階で十分に明確ではないため、メコン架橋の必要性・妥当性については慎重に検討し、検討結果を DFR に記載すること。

代替案検討

3. メコン架橋の代替案について、メコン川対岸地域（アレクサ市側）での道路盛土建設による氾濫原への影響の可能性は、盛土の開口部（カルバートや橋梁）の設置案にかかる流量計算や氾濫シミュレーションなどを基に検討すること。その上で、自然環境および社会環境への影響を定量的に評価して、代替案を精査した結果を DFR に記載すること。
4. コーキー市場区間における代替案比較に関し、環境への影響に関する配点を見直すとともに、その結果を踏まえてバイパス案等との代替案比較を見直し、その検討結果を DFR に記載すること。
5. 現道改良案の影響建物について、影響を受ける関係者が影響建物を失うことによる収入減やコスト増等を含む社会影響を調査すること。その影響が明らかになった段階で、バイパス案等との代替案比較を見直し、その検討結果を DFR に記載すること。

社会配慮

6. RAP 策定においては、カンボジア国の土地法、土地収用法、ROW に関する Sub-Decree 等、同国の土地法制にかかる変遷を整理するとともに、過去の国道 1 号線拡幅時の補償状況や同国の土地政策の実情を踏まえた補償方針を策定するよう実施機関と協議すること。
7. 国道 1 号線の沿道で営む小規模あるいは仮設の店舗で働く人、メコン川での渡し船や漁業を営む人、フェリー乗降客を相手に営む小規模な露天商、ならびに先住民族も含めて、経済・社会的に弱い立場の人に関する実態を把握し、本件事業の情報周知やアクセスの機会を公平に提供するとともに、意見収集する手段を検討し、影響緩和策ならびに生計手段の喪失が想定される場合には補償や支援を含めた対策を講じるよう実施機関と協議すること。

その他

8. ROW や暫定道路幅（PRW : Provisional Road Width）内の物件の移転補償を繰り返さないため、カンボジア国公共事業運輸省（MPWT）等において、ROW の管理を行う制度・体制を構築ないしは強化するよう実施機関へ申し入れること。

以 上